

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1101008

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	A	
単位施策	2 良好な住生活の確保	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	町有施設耐震化事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	11 町有施設整備室	
事業主体	雄武町	関係課	3 税財管理課	
事業指標	旧耐震構造公共施設の耐震化施設数		#N/A	
事業目標	非木造公共施設15箇所の耐震化及び木造公共施設の耐震補強	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	2 耐震改修促進法	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	不特定多数の人が利用する公共施設で、昭和56年以前に建設された建物の耐震化 ・平成19年度耐震診断結果による耐震改修実施設計及び耐震改修 ・耐震改修促進計画の策定 ・平成19年度未実施の公共施設耐震診断・実施設計	・耐震改修促進計画の策定 ・H19耐震診断による耐震改修実施設計	・耐震診断—3施設 ・木造施設耐震補強工事	・H19耐震診断による耐震改修	・H21耐震診断による実施設計—1施設	H23実施設計による耐震改修工1施設	
	事業費(千円) 71,521 国庫支出金 7,006 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 64,515	9,550 9,550	7,040 1,346 5,694	49,500 3,854 45,646	2,291 760 1,531	3,140 1,046 2,094	
計画事業費	事業費(千円) 69,825 国庫支出金 18,405 道支出金 0 地方債 3,300 その他 0 一般財源 48,120	8,644 1,417 3,300 3,927	6,815 1,131 5,684	49,389 14,198 35,191	1,890 630 1,260	3,087 1,029 2,058	
	(特定財源の詳細等) ○社会資本整備総合交付金  【評価・実績】	(実施内容等) 耐震改修促進計画の策定 役場庁舎の耐震改修実施設計  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 町有施設耐震診断 沢木公民館他2施設 木造避難施設耐震補強工事 沢木寿の家他11施設  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 役場庁舎の耐震改修  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 武道センターの耐震改修実施設計  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 武道センターの耐震改修  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
関連事項	第4期総合計画関連(継続有り)	年度目標値	計画策定・実施設計	耐震改修2施設	耐震改修1施設	実施設計1施設	耐震改修1施設
		年度達成率	91%	97%	100%	82%	98%
		全体達成率	12%	22%	91%	93%	98%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名 町有施設耐震化事業	評価者 管理職 職氏名	町有施設整備室長	佐竹 邦夫
	評価者 作成者 職氏名	建築係長	宇野 安久

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民・町有施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	耐震化率								
【抱える課題やニーズは】	地震による公共施設の安全確保	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	大地震により倒壊しない安全な公共施設づくり	① 補強施設数 筋交補強施設数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1施設</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1施設</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1施設	実績値	1施設	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1施設										
実績値	1施設										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	公共施設の耐震化により安全性と避難施設の確保	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し、避難施設となる武道センターについて、壁筋交い補強工事を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地震時における不特定多数の人が利用する公共施設の安全性の確保や避難場所・防災拠点施設となる公共施設の耐震化は町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	公共施設の耐震化の推進により、安全で安心な施設づくりが図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	市場単価の調査による適正な積算価格で発注されたことは効率的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

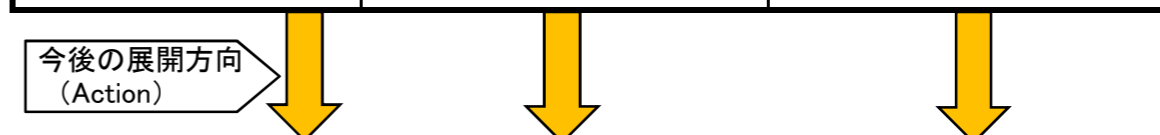
公平	判断の理由	事業実施により、公共施設の耐震性の向上が図られたことは公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業が目標どおり達成された		



終了		
平成24年度事業完了		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止